学校番号	112

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　精選古典探究」　（第一学習社）						
副教材等	「読解をたいせつにする　体系古典文法」　等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業の予習のために、本文は必ず音読してください。
・授業の後は、内容を振り返り、復習しましょう。
・提出物の期限は必ず守ってください。また、定期考査に向けて、計画的に学習してください。
・古文・漢文それぞれの作品に親しみながら、内容、登場人物の心情を理解するために、語彙力や文法の力を養ってください。
・古典を通して人生を豊かにするための感性や情緒を育みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・古典に親しみ、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・古典の作品を通して先人のものの見方、感じ方、考え方に触れ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深める。 ・古典の作品の種類とその特徴について理解を深める。	・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえる。 ・古典の作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考え方を広げたり深めたりする。	・古典作品や伝統文化に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで古典に親しもうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	説話 ［教材］『古今著聞集』 「小式部内侍が大江山の歌の事」	a：古典に用いられている語句の意味や用法および修辞を理解し、古典を読むために必要な文法等について理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている。 c：説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・ノート	・観察 ・ワークシート ・ノート
	随筆（一） ［教材］『徒然草』 「世に語り伝ふること」	a：古典に用いられている語句の意味や用法および修辞を理解し、古典を読むために必要な文法等について理解している。 b[読]：書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観を理解しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・ノート	・観察 ・ワークシート ノート
	物語（一） ［教材］『伊勢物語』 「渚の院」	a：古典の作品に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：作品に興味を持ち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いをとらえようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ノート	・観察 ・ワークシート ・ノート
	随筆（二） ［教材］『枕草子』 「二月つごもりごろに」	a：読解に必要な古典の敬語表現についての理解を深めている。 b[読]：敬語に表れている人物関係を丁寧に読解するとともに、宮廷生活に関する様々な資料を調べ、理解を深めている。 c：宮中での生活について理解しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・ノート	・観察 ・ワークシート ・ノート
2	日記 ［教材］『更科日記』 「源氏の五十余巻」	a：古典の文の成分や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]：書き手の考えや感じ方をとらえて読解するとともに、人間、社会などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：作品に描かれた古人の旅について読み味わうことを通して、当時のならわしについて知り、旅について書かれた日記の意義について考えようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・ノート	・観察 ・ワークシート ・ノート
	漢文（故事・逸話）		・定期考査	・定期考査	・観察

	［教材］ 「推敲」「鶏鳴狗盗」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて、理解を深めている。 b[読]：古典の作品を丁寧に読解するとともに、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：故事成語の内容や文化的背景に興味をもち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとしている。	・小テスト ・ワークシート	・ワークシート ・ノート	・ワークシート ・ノート
	漢文（漢詩）	a：漢詩のきまりや修辞を理解し、作品の言葉の響きやリズムについて理解を深めている。 b[読]：詩に表れている風景や作者の心情を的確にとらえ、表現の特色を評価している。 c：漢詩に興味を持ち、作者のものの見方、感じ方を読み味わおうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・ノート	・観察 ・ワークシート ・ノート
	［教材］ 「独坐敬亭山」「碩中作」				
3	物語	a：古典の作品に表れている言葉の響きやリズムなどの特色について理解を深めている。 b[読]：古典の作品を多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：作品に興味を持ち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・ノート	・観察 ・ワークシート ・ノート
	［教材］ 『源氏物語』 「若紫」				

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間